



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部便り

第 36 号

2011年7月20日

編集兼発行人

藤森 好則

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



耐震補強工事がほぼ完成した日立事業所本館(三階建)



震災前の本館(四階建)



当時の東暁館(左)と世外庵(右)

大震災を乗り越えよう

支部長 佐藤一男

平成 23 年 3 月 11 日発生した大震災で被災された方々へ心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

日立グループの各事業所も甚大な被害を受けました。4ヶ月を経た現状について触れてみました。

事業所の損傷と驚異的な復旧

工場建屋・生産設備は大きな損傷を受けましたが、主力事業所では一部を除き、3月29日操業再開、4月末には殆どの操業を回復しました。この驚異的な復旧は全従業員の懸命な努力によるもので、OBとして心から拍手を贈りたいと思います。

例えば、大きく損壊した日立事業所本館建屋は、四階部分の取壊し耐震補強の臨時対策がとられましたが、根本対策はこれからとのことです。他の事業所でも同様の復旧が進められています。

東京電力福島原発への協力

震災発生直後、日立製作所では 24 時間体制の「原子力緊急対策室」を設置し、技術者・作業員約 370 名を現地に派遣しています。日立グループ全体では 1,000 名以上が支援に当たっています。「俺がやらねば誰がやる」の日立魂でがんばっています。

今後とも、日立総力を挙げて政府や東京電力に協力して行くとのことであります。

東暁館別館（社友茨城支部）の被災

同好会の活動拠点として借用していた東暁館別館は、屋根瓦が落ち、柱が歪み、土台の崩れなどの被害があるため現在使用禁止にしています。改造復旧は困難かと思えます。

そのため、各種パソコン・デジカメ・囲碁・写真五七五などの同好会活動は、周辺の公共施設を借りる等して、何とか当座をしのいでもらっています。

歴史的遺産としての世外庵

東暁館別館は別名「世外庵」といわれています。明治の元老・井上馨侯が「日立鉱山」を訪れた際に宿泊された由緒ある建物で、鉱山事業拡大資金のご支援をお願いした史実が残されています。（「世外庵」の名称は、井上侯の雅号である「世外」からきています。）

この由緒ある「世外庵」を社友茨城支部の活動拠点として借用していました。たとえ東暁館別館の復旧が不可能になったとしても、世外庵の歴史は後世に語り継ぐ責務が私たち OBにあると考えます。

支部の新たな活動拠点は日立事業所を通じて探しているところです。いましばらくお待ちください。

震災を乗り越えがんばろう

震災のショックを乗り越えて前進しよう。萎縮せずに勇気をもって、被災地復興のため、次の時代の日本のためがんばろう。

がんばれ日立！ がんばれ日本！

義援金ご協力ありがとうございました

社友のみなさんへ被災者への義援金募集をお願いしたところ、約 750 名から、215 万円の善意が寄せられました。改めて社友クラブ茨城支部の底力の大きさを感じた次第です。

義援金は 5 月 25 日に 209 万円を、残りは 7 月 5 日に茨城新聞社を経由して被災地へ届けられる様になりました。ご協力有難うございました。

以下は 5 月 30 日付け茨城新聞掲載記事です。



手作りビデオのおすすめ

《ビデオ作りは長寿の源、97歳の今も楽しんでます!》

甲賀 正三



私の趣味はビデオで作品を作ることです。九十七歳の今はほとんど休業の状態ですが、今でも「藤枝映像クラブ」と「静岡ビデオクラブ」の会員になって、仲間と交流しています。

このビデオのお蔭で、定年後も充実した毎日が送れ、長生きできたような気がします。皆様にもおすすめしたいと思います。

私が初めて八ミリカメラを手にしたのは、昭和三十三年頃でした。「供給所」の特売で、「セコンニック」を買った時です。焦点距離十三ミリと三十八ミリの二本ターレット式で、十六ミリの白黒フィルムを使うもので、片側づつ往復で撮って、現像のあと、縦に切って八ミリにする方式で、三分位の長さでも三千円位かかりました。

そのあと、八ミリのカラーカセットフィルムができて、音も同時に録音できるカメラもできて、小型映画の世界は飛躍的に盛んになりました。

その頃、視聴覚教育ということが流行り、小中学校の先生も、郷土の行事や風物を小型映画にして教材として使うことが必要になりました。

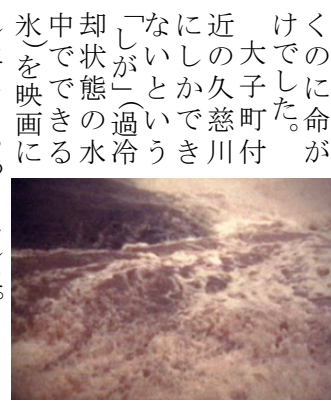
市ではそのため、「日立市民八ミリ教室」という同好会を作りました。私もそれに入れてもらって、仲間と一緒に勉強しました。

その頃、キリスト教大学の演劇部と共同でドラマ映画を作ったことがあります。「なみなと浜」に泊まりこみで、私は「汐騒の消える時」というタイトルの映画を作りました。学生さん達が真剣に演技をやってくれた光景は今も目に焼きついてます。

市から頼まれて「茨城国体」の記録

映画も作りました。

「袋田の滝」の四季を撮った「滝の四季」も忘れられない作品です。滝幅いっぱいになって流れる濁流を撮るために、台風の最中に車を走らせて行ったこと。今のようにトンネルが無かったので、滝の下までたどりつ



濁流の袋田の滝
「滝の四季」のひとこま

くのに命がけでした。

「けんみんテレビ」コンテストで優秀賞をもらった「京丸ボタン」も思いで深い作品です。審査委員長だった映画監督の鈴木清純さんから色紙をもらいました。

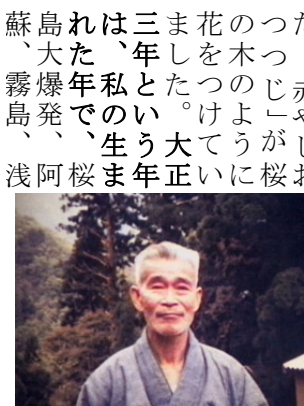
「京丸ボタン」は天竜川の上流地方に伝わる伝説の花で、秘境を訪ねて山の中を歩きまわって撮りました。南北朝の頃、賊軍に追われた後醍醐天皇が隠れ住まわれた御所の花壇に植えたぼたんが二抱えもある大木になつて、それに唐傘ほどの大きな花が咲く、それが「京丸ボタン」です。



秘境京丸を訪ねて
「京丸ボタン」のひとこま

大正三年にこの花を見たという藤原家(後醍醐天皇の重臣の子孫)を訪ねました。花の咲くという岩岳山に

も行きまし



「京丸ボタン」を見た藤原さん
「京丸ボタン」のひとこま

た。「赤やしおつつじ」が桜の木のように花をつけていました。大正三年という年は、私の生まれた年で、桜島大爆発、阿蘇、霧島、浅間などが爆発し、第一次大戦が起きた年です。

「京丸ボタン」は天変地変、凶事の起きる前兆として咲くと伝えられています。

この花の正体について、静岡大学の調査隊も調査しましたが、いまだ不明のままです。

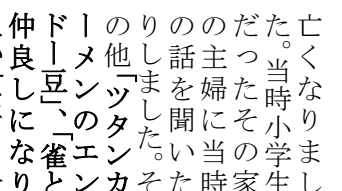
定年になって六十五歳の時、生まれ故郷の焼津に帰り、当地の同好会に入り仲間と一緒に小型映画作りを続けました。この頃、八ミリフィルムはビデオに変わり、ビデオもハイエイト(Ⅲ)Ⅲ、デジタル、と目まぐるしく変わり、ついて行くのに大変でした。

当時は、全国的なクラブのネットワークがあり、全国的なコンテストも盛んに行われました。特に日立市主催のビデオコンテストは今も続けられていて有名です。私も何回も応募しました。最優秀賞も数回頂きました。ただ、応募者の中に日立社友クラブのメンバーが見られないので淋しく思いました。

日立ビデオコンテストで最優秀賞をもらった私の作品では、「山桃は知っている」というのがあります。戦時中米軍が余った爆弾を捨てていつに爆弾の破片が貫通した孔が今も残っています。その時数人の小学生が

亡くなりまし

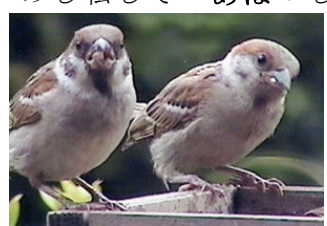
た。当時小学生だったその家の主婦に当時の話を聞いたの他「ツタンカーメンのエン



「山桃は知っている」
のひとこま



「ツタンカーメンの
エンドー豆」のひとこま



「雀と仲良しになり
たい」のひとこま

ビデオは撮影するだけではないです。構成、シナリオ、編集、BGMやナレーションの音入れ、この全部をやって初めて作品になるものです。総合芸術としての達成感も得られます。「ひま」のある社友会の皆様には是非おすすめしたいと思います。

甲賀正三氏 連絡先

〒425-0092 焼津市越後島 113
電話 054-627-5923

リレー随筆 (36)

関谷 親文

私の健康づくりウォーキング

先日、ある生命保険会社の「職業別平均寿命調査」という記事があり、一番の長生きは僧侶で79.5歳、一番短命なのは小説家とスポーツ選手で71.5歳という結果が載っていた。私は若いころ野球をやり、その後もゴルフやジョギング、ダンベル体操など健康づくりに努めてきた。自分ではスポーツマンを自負していても短命とは残念である。60歳を過ぎてからのジョギングは、自宅近くの小川沿いに4kmから6kmを走り、調子がよいときは8km位まで距離を伸ばしていた。65歳のころ、一つの転機となることがおき、ジョギングからウォーキングに変えたのである。



・・・さて、私の家の前をジョギングで走り抜ける人を最初に見たのは、私が60歳のころで、妻は「あの方は、この団地内の自衛隊を定年になったばかりの〇〇さんですよ」と教えてくれた。私が関心を持ったのは、この人の走り方はマラソン選手に近い走り方で、真剣な表情で汗びっしょりであったからだ。ところが、何年か後にいつもの床屋の主人にその話をすると、「あの方は亡くなりましたよ」と…。その日の朝、いつものように走るとい主人に奥さんが、「昨夜は飲んで遅かったんだから、今朝はやめたら」と言ったが、それを振り切って出かけた。ジョギングから戻ってシャワーを浴びているうちに気分が悪くなり、そのまま亡くなった、という・・・。

運動をする＝丈夫になれる＝長生きする。こういう

ふうに短絡的に鵜呑みにしているというか、錯覚していた単純な自分であった。適度な運動をすることが、健康体を維持して、結果として長生きするという面はあるが、だからといって病魔を近づけないと思うのは間違っていたと気付いたのである。「えっ！あの方が」と元気な人が亡くなる例は多い。ポイントは何事も「ムリしてまで力んでするな」と言うことだろう。

そこで私は65歳位からジョギングをウォーキングに変えたのである。ただ、妻と散歩としてのブラブラ歩きは効果がないと考え、日本ウォーキング協会公認指導員にウォーキングの基本を教わりました。まず正しい歩き方を、そして歩幅や歩く速度、心拍数などを所定の距離を歩き測定しました。歩幅や速度は若さを保っているが、歩いた直後でも心拍数が低く問題あり、との指摘を受け、ジョギングからウォーキングに変えてよかったですと思いました。

現在は一日一万歩を目標に毎日歩いている。朝、早起きして歩いた日は、気分が爽やかで一日が楽しい気分になれるので、これは心の健康にもなると実感している。77歳の現在は、毎日一万歩は少しく感じるようになってきたので、歩数を減らすとか、隔日にするとか、筋力トレーニング(腕立て、腹筋、ダンベル体操)の時間短縮を考えている。



平成22年10月 福島県
浄土平～逢来山～吾妻
小富士ウォーキング

同好会行事に参加して

「デジカメクラブ」

伊藤 久雄



従来、写真は旅行の記録か顕微鏡写真しか撮ったことが無かったのに、何故か今はデジカメクラブの月例会、撮影会で楽しませてもらっています。定年後に何かすることはなかったかと思っていたとき、デジタルカメラが出てきた。写真をパソコンで加工したり、プリントができる。面白そうだと手に入れました。

丁度、社友クラブの同好会が立ち上がる時で、枯れ木も山のにぎわいと誘われるままにデジカメクラブに入れてもらい、会瀬クラブで、まず手振れしないシャッターの押し方から写真について、先輩たちに教えてもらい、何とかクラブの仲間に入れてもらっています。しかしセンスの無いのは仕方がないので、今は被写体の面白さを期待して、日本の城の天守閣を撮影しています。

「囲碁の会」

助川 一弥



先輩から誘われて囲碁クラブに参加して、早や1年になります。その先輩から、囲碁の上達には「三つの気」が大切だと教わりました。一つ目の気は「やる気」です。やはり強い相手に果敢に挑戦していく、やる気が大切で、結果はともあれ、チャンスを見つけてあらゆる大会に参加する様にしています。二つ目の気は

「元気」です。勝負事に勝つには、それなりの体力が必要です。このために毎日トレーニングに励んでいます。三つ目の気は「根気」です。一つの詰碁を何日も考えてやっと解けた時の快感はひとしおです。この6月からは、囲碁クラブの世話人を仰せつかり、「三つの気」を大切にして、囲碁の上達に励んでいます。

この大震災のため、ここしばらく囲碁の例会ができませんでしたが、何とか3か月に一度の大会を開催する運びとなりましたので、皆さんも「やる気」を出して、参加してみても如何ですか。初心者も大歓迎です。



「パソコンクラブ MM 研」

小林 康浩

MM研には発足当初から参加させて頂いて今年で十年になります。当初はアニメやダイナミック HTML の分野をテーマにしたスタートだったと記憶しています。手始めはスライドショーを取上げ多彩な画像表現方法を勉強しました。その後 Flash、JavaScript、CSS など新しいソフトやプログラミングの基礎を勉強して Web デザインの応用にチャレンジしています。また、毎回外山さんから最新の技術動向を紹介して頂いて、マルチメディアの奥行きを深さを覗かせて頂いています。マルチメディアの世界は間口が広く奥行きも深いので、その全貌を理解することは困難です。自分でやりたいことを決めて取り組むことが肝要と考え、これからも自分の興味のもてる範囲の中で勉強させて頂きたいと思っています。

同好会の行事ご案内(8月～10月)

1. 第49回研修会

【海上自衛隊横須賀基地と記念館「三笠」見学】

横須賀市にある海上自衛隊横須賀基地と、日露戦争日本海海戦の旗艦戦艦三笠の記念館を見学します。

- ・開催日：平成23年9月8日(木)
- ・集合場所・発車時刻：
大甕駅前（常陽銀行大甕支店前）：7:00
JR上り6:55着、下り6:52着を待って出発
日立南ドライブイン：7:05
- ・帰着：大甕駅前 19:00頃の予定
- ・会費：5,500円予定（バス代、昼食代他）
- ・募集人員：先着30名
- ・申込締切：8月5日(金)
- ・申込先：小口 伊佐男 Tel/Fax: 0294-37-3048
E-mail: isao_oguchi@lake.ocn.ne.jp

2. 第46回歩こう会【梵天山コース】

常陸太田の田園地帯で佐竹寺、梵天山古墳を巡るコースを計画しました。皆様のご参加をお待ち致します。

- ・開催日：平成23年9月22日(木)
雨天延期10月12日(水)
- ・集合：幸久公民館(水郡線河合駅西側)
10:30スタート
同公民館駐車場に駐車下さい
- ・コース：幸久公民館→佐竹南台→佐竹寺→梵天山古墳(昼食)→沈石寺→幸久公民館
14:00解散 (10km 平坦地)
- ・持参する物：弁当、飲み物、
- ・会費：200円(非会員はプラス300円)
- ・申込締切：平成23年9月15日(木)
- ・申込先：垣貞玲吉 Tel/Fax: 029-274-1727
E-mail: ryk888@pure.ocn.ne.jp

3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡致します。)

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場 所	時 間	備 考
		8月	9月	10月			
野鳥自然観察グループ	石川 皓 0294-53-7064 aishikajp@ybb.ne.jp	休み	19(月)	17(月)	常陸太田栗原 赤羽緑地周辺	7:00～ 9:00～	参加費:¥200/回 原則 雨天中止
囲碁の会	日立地区 助川一弥 080-5860-9713 sukegawa@tkw-eng.co.jp	休み	28(水) 大会	休み	丸市本店	9:30～	参加費:¥1300/回 昼食代含む
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	18(木)	15(木)	20(木) 大会	大島コミュニティ センター	9:00～	参加費:¥200/回 大会:¥700
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	8(月) 22(月)	12(月) 26(月)	11(火) 24(月)	明治商会	10:00～	参加費:¥1600/回
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 Perroygato4923@net1.jway.ne.jp	1、8、 25(月)	5、12、 26(月)	3、17、 27(月)	滑川体育館	12:00～ 15:00	参加費、会場費等 まとめ:¥2500/年
デジカメクラブ	高原邦明 0294-53-7101 k-takahara@rio.odn.ne.jp	1(月)	5(月)	3(月)	大久保 交流センター	13:00～ 16:30	参加費:¥100/回 昼食なし
写真五七五	八巻秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	5(金)	2(金)	7(金)	大久保 交流センター	9:00～ 12:00	参加費:¥100/回 昼食別途
パソコングループ	シニア P C	平成23年度は休止します					
	I II						
	HPの会	中村 進 0294-38-6232 ssm2332@hb.tp1.jp	2(火)	6(火)	4(火)	場所後報	10:00～ 15:00 参加費:¥1300/回 昼食代含む
	基礎講座	山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	9(火)	13(火)	11(火)	場所後報	10:00～ 15:00 参加費:¥1400/回 昼食代含む
	極楽サロン	島田勇一 0294-34-4467 yshimada@ng.ejnet.ne.jp	18(木)	15(木)	20(木)	場所後報	10:15～ 15:00 参加費:¥1300/回 昼食代含む
	勝田地区	渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	23(火)	27(火)	25(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15～ 16:00 参加費:¥700/回
	MM研	藤原延弘 0294-34-4039 ntit.fjwr@nifty.com	26(金)	30(金)	28(金)	大久保 交流センター	13:00～ 16:30 参加費:¥200/回

専門講座の日程 <Acrobat X 勉強会:原則第3水曜日、Flash CS3 勉強会原則第4木曜日>

訃 報 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。
衷心よりご冥福をお祈り致します。

江頭 一晃	平成23年 1月18日	享年82歳
中村 久雄	平成23年 3月10日	享年83歳
島田 隆介	平成23年 3月19日	享年84歳
森 秀一	平成23年 4月2日	享年71歳
上田 富洪	平成23年 7月1日	享年77歳

編集後記 同好会の幹事さんには、活動拠点の確保に大変ご苦勞をおかけしています。由緒ある「世外庵」の復旧を願って止みません。

長年、ビデオ作りに“ロマン”を燃やし続けてこられた甲賀さんには、97歳とは思えない若々しさに大感銘です。関谷さんには、体と心の健康づくりのために、ウォーキングの基本を追求・実践されてきた姿に感動です。

藤森 好則